

浜松市障がい者自立支援協議会 西エリア連絡会 第2回全体会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月18日 午前10時00分から午前11時37分
- 2 開催場所 西行政センター 3階 大会議室
- 3 出席状況 ※敬称略

構成員 相談支援事業所まで
四季の郷
みなみ
浜松手をつなぐ育成会
好生会三方原病院
浜松市社会福祉協議会西地区センター
浜名特別支援学校
放課後等デイSES浜松西校
地域包括支援センター雄踏

事務局 浜松市西障がい者相談支援センター

浜松市中央福祉事業所社会福祉課西社会福祉G

オブザーバー 浜松市障がい者基幹相談支援センター

<日中サービス支援型GH中間評価報告者>

ソーシャルインクルーホーム浜松雄踏町
ソーシャルインクルーホーム浜松馬郡

<欠席者>

構成員 中央区西民生・児童委員協議会

4 傍聴者 17人

5 議事内容 1 開会

- 2 中央福祉事業所社会福祉課専門監挨拶
- 3 報告事項
 - (1) 市協議会報告
 - (2) 浜松市障がい者自立支援協議会構成員研修会のお知らせ
 - (3) 質疑応答
- 4 協議事項
 - (1) 日中サービス支援型GH評価後年度の取組みについて
 - (2) エリア連絡会部会活動について
 - (3) その他
 - (4) 質疑応答
- 5 閉会・次回開催予定

6 会議録作成者 浜松市中央福祉事業所社会福祉課西社会福祉グループ

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有・無

8 会議記録

1	開 会	司会：浜松市西障がい者相談支援センター
3	報告事項	
	(1) 市自立支援協議会報告	資料に基づき説明
		※質疑応答無し
	(2) 浜松市障がい者自立支援協議会構成員研修会のお知らせ	資料に基づき説明
		※質疑応答無し
4	協議事項	
	(1) 日中サービス支援型GH評価後年度の取組みについて	資料に基づき説明
		<主な報告内容>
		・10月上旬にそれぞれ事例検討会を行っている。動画を撮影し、参加できなかった職員の研修材料としてGHへ渡している。
		・これからも合同研修会をやっていきたい。
		・残った課題の共有や、何が有効だったかをフィードバックできる場となれば、と考えている。
		・(GH浜松馬郡)事例検討について、今までGH内で行っておりマンネリ化していたが、外部の方の意見をもらえたことによりできていなかった

たことに気づくことができた。先が明るくなり、自信をもらえた。

<構成員からの主な意見>

○浜名特別支援学校

- ・高校卒業後どんなところで生活しているのか深く思いを馳せることができていなかったが、見学・検討会を経て、生活の様子や家族等が抱える問題などを知ることができた。
- ・家族で支援が必要と感ずることもあり関係機関とのつながりの重要性を伝えていく必要を感じる。学校として何ができるのか、強度行動障害とならないようになにをしていけばいいのか考えさせられた。

○好生会三方原病院

- ・報告を聞くだけでなく実際目にすることで様子がよくわかり貴重な機会だった。
- ・事例検討に出してよかった、先が明るくなったと思ってもらえたのは大事なこと。次回の案が挙がり、双方にとってよかったと思う。

○みなみ

- ・浜松雄踏町は強度行動障害の研修を4名受講していて利用者の安全安心につながると思う。
- ・入所の方は縁があつてここにいる、絶対に退所させないという施設長の言葉に、私もがんばらないと、と思った。

○四季の郷

- ・いろいろな悩みがある中で、いろいろな関係者の方と連携できる場を設けられ、GH側も前向きにとらえてくれている。
- ・悩みの共有など進捗がみられており、これからも関係を保ってほしい。悩みの解決につながる糸口が見つかっていくといいなと思う。

○相談支援事業所まど

- ・みんな総出で個々の対応に取り組んでいることが見えたいい機会だった。
- ・立場が違ふと新たな発見があり、多角的な視点が持てる。続けていける機会があるといいなと実感した。エリアでの対応を検討できるといいなと実感した。
- ・ほめてほしいという利用者の声を支援者がきちんとひろってくれている。きちんと見てくれているから落ち着いて生活できているのでは、と感じた。

○地域包括支援センター雄踏

- ・グラウンドゴルフの参加やGHの見学など、地域の方との関りがあり、理解いただけていると感じた。
- ・事例検討では、年配の利用者に対しても、生まれた時からさかのぼって検討していくことの大事さを感じた。
- ・高齢となり介護利用となった時に、障害のある方にどう対応していくのかも含め、交流を深めていくことの大事さを感じた。

○放課後等デイサービス浜松西校

- ・利用者がGHに住み続けたいと言っているのが印象的だった。

- ・放デイの利用者にも、小さな時から卒業後のことを心配している方がいるが、生活する場についてはまだまだイメージできていない。
- ・実際に見学すると生活の様子、取り組みを見ることができ、こういう取り組み、選択があるとわかり有意義だった。重い障害のある方だと、家族も特にイメージが難しいがいろいろと情報を伝えていきたいと思う。
- 浜松手をつなぐ育成会
 - ・重度化・高齢化に対応するために、と書くのは簡単だが、簡単に書かれない、という思いもある。
 - ・GH職員の先が明るくなったという意見はうれしいことだが、その先はどのようなか。私たちの活動・課題を市、県、国に上げていく役割もあるのかな、と思う。
- 浜松市社会福祉協議会西地区センター
 - ・支援員は日々悩みながら対応されている、他の利用者もいるため難しさもあると思う。
 - ・事例検討で出た提案内容が全てではないので、その後どうしていったのかも聞きたいと思う。
- 浜松市障がい者基幹相談支援センター
 - ・野中式の話が出たが、生まれてからの振り返りをする事でわかることもある。
 - ・GHは大変だった時期を乗り越えて、生活の質について考えている。多角的な視点でできてよかったと思う。
 - ・GHだけでの対応は困難であり、チームで支えていくことが大事。
 - ・知恵を出し合いながら強みやいいところさがしなど、みんなで意見を出せていた。
 - ・事例検討のその後どうだったのか、一緒に考えていければと思う。

(2) エリア連絡会部会活動について

資料に基づき説明

<主な報告内容>

- ・第1回全体会にて部会について触れ、意見をもらい、部会案を作成。
- ・生活を「イキイキ」としたものにという視点で喧々譁々できたらと思う。
- ・次の12月全体会には形作れるよう準備していく。

<構成員からの主な意見>

○相談支援事業所まで

[居宅イキイキ生活部会]

- ・地域で生活する方の選択できる幅が増える気がする、取り組みとしてはいいと思う。地域にないものが補填されていくことはいい取り組み。
- ・GHも家族も何人くらいに聴き取りしていくのか、想定人数を決めるといいと思う。当事者も、と話があったが。
 - 浜松市西障がい者相談支援センター：当事者には必要な箇所で聞くイメージ。初めからとは今のところ考えていない。
- ・聴き取りで自己発信と現状と違いが出るかもしれない。そこのすり合わ

せはどうしていくのか、標準化を図れる聴き取りがいいのではないか。

- ・いずれは市の協議会上げていければいいが、年間スケジュールを決めておくと参加する側も目標が持てる。

[こども部会]

- ・情報提供としてエトセトラは年1回の発行でいいのか。

○地域包括支援センター雄踏

[居宅イキイキ生活部会]

- ・「イキイキ」は素敵だと思う。生活機能・生活場面について在宅・GHの方に聴き取りし、足りないところについて検討していく、課題を明らかにしていくイメージで合っているか。

→浜松市西障がい者相談支援センター：資料は切り込んでいくためのもの。あくまでも行為に焦点を当てているので、そこから派生していけばいいなと考えている。

- ・困ったときの認識は本人なのか、周り（家族・支援者）なのか、その基準は必要かと思う。

○放課後等デイサービス浜松西校

[居宅イキイキ生活部会]

- ・選択肢がないと選択できない。何について選択でき、選択肢は何か、情報が前提としてほしい。西エリアだとこんな選択ができ、こんなふうに生活できるよ、という感じに。

[こども部会]

- ・みんなに情報提供をしていきたい。事例検討も関係者（事業所）との関係性が作れるいい機会。

○浜松手をつなぐ育成会

[居宅イキイキ生活部会]

- ・居宅にGHも含まれるとは思っていなかった。
- ・8割の方（当事者）は生まれた家に親、兄弟または一人で住んでいると以前聞いた気がする。
- ・GHや入所施設では、いろいろな課題のある私たちのこどもに、目が向けられていないよねという意見もある。この部会では、そういうこどもたちに目が向けてくれるのかな。
- ・強度行動障害でもなく、平和に生活している障害者にも目を向けてくれるのなら、こういう部会もいいなと思う。期待している。

[こども部会]

- ・家族ぐるみで支援が必要な方も多い。小さい子向け、家族ぐるみ向けも必要だと思う。

○浜松市社会福祉協議会西地区センター

[居宅イキイキ生活部会]

- ・社協でもできるところはある。仕組み作りも考えていくのか。
- 浜松市西障がい者相談支援センター：今のところまだ決めていない。
- ・新しい仕組みが必要かなと思っているが、市にあげてできればいいが、地域におろしていくには丁寧なすりあわせが必要となる。

[こども部会]

- ・サービスにつながっていない方など、福祉全般の難しさを感じる。合わせて検討していければ、と思った。

○浜名特別支援学校

[居宅イキイキ生活部会]

- ・みなさんの意見を聞いて、居宅という視点が足りなかったなと感じた。

[こども部会]

- ・情報をもらったのフィードバックに課題を感じていたので、情報提供はいいと思う。

○好生会三方原病院

[居宅イキイキ生活部会]

- ・誰からどれだけ集めていくのかが気になった。
- ・できない、足りていないことが地域診断になるというのがためになった。そこを強化していくという視点も大事だと思う。
- ・事例について関わっている人の意見から広げた支援は考えやすく、具体的なイメージが持てると思う。

[こども部会]

- ・継続していくことは素晴らしいと思う。メンバーに学校が入り、支援級から意見を広く聴けるのもいいと思う。

○みなみ

[居宅イキイキ生活部会]

- ・利用者の情報を集めて課題を抽出するという取組みはとてもいいと思う。住み慣れた地域でイキイキと、もいいと思う。

[こども部会]

- ・引き続きやっていけたらと思う。

○四季の郷

[居宅イキイキ生活部会]

- ・こういうふうに課題を抽出していくのはいいと思う。
- ・西だと交通手段に課題がある等、これまで地域の強みや弱みなど調べてきていたので、今までの取組みを継承できるところは継承し、リセットするところはして、上積みしていくといい。

[こども部会]

- ・中学1年の親御さんから、高卒後の通所先について見学の希望がきたことから、情報提供というのがキーワードとしてあるのかなと感じた。引き続きやっていければいいと思う。

(3) その他

- ・GHの事例検討でも引き続きの意見もあった。今年度後半にも事例検討の機会を持つなど、いろいろ提案をしていきたい。